

東通村と都市部との交流事業2010

「東通村のわらしを訪ねる会」開催！

～浮間小の児童が東通村を満喫～



7月23日（金）から25日（日）までの3日間、「東通★東風塾（塾長山崎孝悦）」（東通村商工会及び東通村協力）が主催する東通村と都市部との交流事業「東通村のわらしを訪ねる会」が、村内で行われました。これは、電気の生産地である東通村を最大の消費地である首都圏の皆さんに知っていただくという事業であり、平成16年度から東京都北区の浮間小学校との間で行われています。今回は、同小学校の5年生の児童10名（男4名、女6名）を招待し、東通村を存分に満喫してもらいました。

児童の交流にあたり、浮間小学校・東通小学校両校の先生方・保護者の方々、吉田昭美会長を始めとする入口地区の住民の方々、村内訪問先の関係者の皆さんが、それぞれの交流先でどこでも児童達が楽しく交流できるよう尽力くださいました。

また、北区教育委員会の伊与部教育長、浮間小学校の渡辺校長も村を訪問し、これからの交流にも大いなる期待をもてる盛大な交流事業となりました。

入村式

村庁舎で行われた入村式では、越善村長から、児童一人ひとりに入村証とヒバで作ったふるさと会員証が渡されました。児童達は、うれしそうに受け取っていました。



焼肉広場

東通牛バーベキュー広場で、東通牛を食べながら児童達は、「おいしい！」を連発していました。食後は、東通小の児童達とドッチビーの対戦を楽しんでいました。



ホームステイ先との対面式

今回のホームステイ先となる入口地区（かしの館）で、対面式が行われました。受入れ先となる家庭の児童から、ホタテの貝殻でつくった首飾りをプレゼントしながら、とても温かい歓迎セレモニーが行われました。



東北電力(株)東通原子力発電所見学、東京電力(株)東通原子力発電所準備工事内見学、トントゥピレッジ見学

1日目に、青森県内初の原子力発電所である東北電力(株)の東通原子力発電所を、2日目に、東京電力(株)が着工準備中の東通原子力発電所サイトとトントゥピレッジを見学しました。児童達は、電気のできる仕組みなどを真剣に聞いていました。

